



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月10日

上場会社名 株式会社 星医療酸器 上場取引所 東
 コード番号 7634 URL http://www.hosi.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)星 幸男
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員財務部長 (氏名)青木 経一郎 (TEL)03(3899)2101
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日 配当支払開始予定日 平成29年12月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日~平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	4,866	1.6	551	1.5	564	1.4	379	1.1
29年3月期第2四半期	4,787	0.1	543	△5.2	556	△4.8	375	18.4

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 391百万円(9.3%) 29年3月期第2四半期 357百万円(61.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	114.83	—
29年3月期第2四半期	113.53	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	15,192	11,504	74.5
29年3月期	15,148	11,192	72.7

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 11,317百万円 29年3月期 11,008百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
30年3月期	—	20.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日~平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,500	3.6	1,310	7.4	1,330	4.7	900	12.8	272.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期2Q	3,601,681株	29年3月期	3,601,681株
30年3月期2Q	298,741株	29年3月期	298,616株
30年3月期2Q	3,302,978株	29年3月期2Q	3,303,226株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和政策を背景に、企業収益の回復や雇用環境に改善が見られるなど、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

一方で、米国政権の政策動向や東アジア地域の情勢不安などによる海外経済の不確実性の高まりから、先行き不透明な状況が続いております。

医療・介護・福祉業界におきましては、高齢者人口の増加を背景として需要は堅調に推移しておりますが、医療費適正化と医療機関の機能分化の推進に向けて、引き続き厳しい対応が求められております。

このような環境のもと当社グループは、いち早く医療・介護・福祉等に関わる顧客ニーズの多様化を視野に、状況に即した対応に努め、各種ノウハウの蓄積と営業力の強化を継続してまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、連結売上高は4,866百万円（前年同四半期比1.6%増）、連結営業利益は551百万円（前年同四半期比1.5%増）、連結経常利益は564百万円（前年同四半期比1.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は379百万円（前年同四半期比1.1%増）と増収増益となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

①医療用ガス関連事業

当部門は、医療用酸素ガスの消費量が減少傾向にあるなか、「保安と安定供給」を第一義とした事業運営に徹しつつ、新規顧客の獲得と新しいビジネスモデルの開拓などに取り組んでまいりました。

これらの結果、売上高は1,623百万円（前年同四半期比3.0%増）、セグメント利益は200百万円（前年同四半期比23.6%増）となりました。

②在宅医療関連事業

当部門は、便利なりモコン機能と安心のモニタリング機能でHOT（在宅酸素療法）の患者様の療養生活をサポートする高機能リモコン「パレット」を搭載した酸素濃縮器「WESTELLA（ウイステラ）-5T」の拡販に努めたほか、「人工呼吸器」、「CPAP」（持続陽圧呼吸療法）のレンタル台数も好調に推移いたしました。

これらの結果、売上高は2,095百万円（前年同四半期比4.7%増）、利益面では人件費をはじめとした諸経費の負担増などから、セグメント利益は253百万円（前年同四半期比3.5%減）となりました。

③医療用ガス設備工事関連事業

当部門は、医療機関の増築・移転新築工事の需要が一巡し物件数は減少傾向にあるなか、適正価格での受注並びに施工コストの低減に努めました。

これらの結果、売上高は405百万円（前年同四半期比20.4%減）、セグメント利益は43百万円（前年同四半期比46.1%減）となりました。

④介護福祉関連事業

当部門は、介護福祉関連商品のレンタル及び販売部門におきましては、地域包括支援センターや居宅介護支援事業者への継続的な営業強化が奏功し、レンタル売上が順調に推移いたしました。

また、訪問看護・居宅支援事業所におきましては、既存の2拠点に加え、平成29年4月に「星医療酸器訪問看護・リハビリステーション王子」（東京都北区）を開設し、事業基盤の拡充を進めました。

これらの結果、売上高は273百万円（前年同四半期比8.2%増）、セグメント利益は40百万円（前年同四半期比120.4%増）となりました。

⑤施設介護関連事業

当部門は、有料老人ホーム「ライフステージ阿佐ヶ谷」（東京都杉並区）におきましては、24時間看護師常駐、地元医療機関との連携強化などの付加価値サービスの提供を通じて、ご入居者様、ご家族様に「安心と安全」をお届けすることをモットーとした運営管理に徹し、新規ご入居者様の確保に努めました。

また、通所介護施設「あしつよ・文京」（東京都文京区）、「あしつよ 巣鴨」（東京都豊島区）、「あしつよ王子」（東京都北区）におきましては、地元に着目したサービスの提供と新たな顧客ニーズの発掘に努め、稼働率アップを図ることができました。

これらの結果、売上高は134百万円（前年同四半期比12.8%減）、セグメント損失は32百万円（前年同四半期セグメント損失19百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は15,192百万円（前連結会計年度末比43百万円増）となりました。これは主に、現金及び預金が485百万円増加したこと、受取手形及び売掛金が450百万円減少したこと等によるものであります。

負債合計は3,687百万円（前連結会計年度末比268百万円減）となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が289百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は11,504百万円（前連結会計年度末比312百万円増）となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上や配当金の支払いにより利益剰余金が300百万円、その他有価証券評価差額金が10百万円増加したこと等によるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

1. 当第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの概況説明

当第2四半期連結累計期間において、現金及び現金同等物は473百万円増加し、当第2四半期連結累計期間末残高は7,824百万円となりました。

2. 各活動別の説明及び前年同四半期比

①営業活動により得られた資金は947百万円（前年同四半期比321百万円増）となりました。

これは、税金等調整前四半期純利益が565百万円となり、非現金支出費用である減価償却費316百万円、売上債権の減少による収入457百万円、仕入債務の減少による支出293百万円があったこと等によるものであります。

②投資活動により使用した資金は157百万円（前年同四半期比0百万円増）となりました。

これは、有形固定資産の取得による支出136百万円、投資有価証券の取得による支出14百万円があったこと等によるものであります。

③財務活動により使用した資金は317百万円（前年同四半期比31百万円増）となりました。

これは、リース債務の返済による支出250百万円、配当金の支払額66百万円があったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期通期の連結業績予想につきましては、平成29年5月12日発表の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,379,146	7,864,383
受取手形及び売掛金	2,169,949	1,719,816
たな卸資産	168,073	135,689
繰延税金資産	57,215	57,082
その他	73,135	56,365
貸倒引当金	△3,174	△2,788
流動資産合計	9,844,344	9,830,548
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	422,283	407,909
土地	2,115,749	2,115,749
その他(純額)	1,202,764	1,270,025
有形固定資産合計	3,740,797	3,793,684
無形固定資産	17,714	15,579
投資その他の資産		
投資有価証券	831,826	861,721
その他	716,027	692,769
貸倒引当金	△1,986	△2,040
投資その他の資産合計	1,545,867	1,552,451
固定資産合計	5,304,379	5,361,714
資産合計	15,148,723	15,192,263
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,942,062	1,652,448
未払法人税等	206,434	195,750
賞与引当金	122,900	91,800
その他	818,929	875,935
流動負債合計	3,090,325	2,815,933
固定負債		
役員退職慰労引当金	470,460	475,170
その他	395,363	396,477
固定負債合計	865,823	871,647
負債合計	3,956,149	3,687,580

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	436,180	436,180
資本剰余金	513,708	513,708
利益剰余金	10,382,609	10,683,415
自己株式	△511,990	△512,514
株主資本合計	10,820,507	11,120,788
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	173,417	184,371
退職給付に係る調整累計額	14,270	11,956
その他の包括利益累計額合計	187,687	196,327
非支配株主持分	184,379	187,565
純資産合計	11,192,574	11,504,682
負債純資産合計	15,148,723	15,192,263

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	4,787,846	4,866,782
売上原価	2,346,731	2,341,972
売上総利益	2,441,114	2,524,809
販売費及び一般管理費	1,898,015	1,973,411
営業利益	543,099	551,398
営業外収益		
受取利息	1,746	1,662
受取配当金	9,197	11,209
その他	6,138	4,330
営業外収益合計	17,082	17,202
営業外費用		
支払利息	3,434	3,832
営業外費用合計	3,434	3,832
経常利益	556,746	564,768
特別利益		
固定資産売却益	141	965
特別利益合計	141	965
特別損失		
固定資産売却損	17	—
固定資産除却損	235	86
特別損失合計	253	86
税金等調整前四半期純利益	556,635	565,647
法人税等	181,624	182,844
四半期純利益	375,010	382,803
非支配株主に帰属する四半期純利益	7	3,524
親会社株主に帰属する四半期純利益	375,003	379,278

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	375,010	382,803
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10,004	10,589
退職給付に係る調整額	△7,188	△2,288
その他の包括利益合計	△17,192	8,301
四半期包括利益	357,818	391,104
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	359,286	387,918
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,467	3,186

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	556,635	565,647
減価償却費	290,682	316,707
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	14,400	4,710
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△148	△361
賞与引当金の増減額(△は減少)	△27,900	△31,100
有形固定資産除売却損益(△は益)	111	△878
受取利息及び受取配当金	△10,944	△12,871
支払利息	3,434	3,832
売上債権の増減額(△は増加)	425,768	457,403
たな卸資産の増減額(△は増加)	△111,228	32,468
仕入債務の増減額(△は減少)	△395,874	△293,184
その他	52,654	80,450
小計	797,591	1,122,822
利息及び配当金の受取額	11,001	12,794
利息の支払額	△3,434	△3,832
法人税等の支払額	△179,190	△184,236
営業活動によるキャッシュ・フロー	625,968	947,548
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△60,000	△60,000
定期預金の払戻による収入	60,000	60,000
有形固定資産の取得による支出	△111,206	△136,383
有形固定資産の売却による収入	300	2,765
無形固定資産の取得による支出	△5,145	-
投資有価証券の取得による支出	△12,913	△14,670
長期貸付金の回収による収入	1,417	2,078
その他の支出	△29,816	△11,674
その他の収入	550	534
投資活動によるキャッシュ・フロー	△156,814	△157,350
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△218,265	△250,417
自己株式の取得による支出	△439	△524
配当金の支払額	△66,930	△66,071
財務活動によるキャッシュ・フロー	△285,634	△317,013
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	183,518	473,184
現金及び現金同等物の期首残高	6,978,152	7,339,146
連結子会社と非連結子会社の合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	12,052
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,161,671	7,824,383

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他	合計
	医療用ガス 関連事業	在宅医療 関連事業	医療用ガス 設備工事 関連事業	介護福祉 関連事業	施設介護 関連事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	1,575,084	2,001,120	508,537	252,369	153,886	4,490,997	296,848	4,787,846
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	47,573	—	—	47,573	—	47,573
計	1,575,084	2,001,120	556,110	252,369	153,886	4,538,570	296,848	4,835,419
セグメント利益 又は損失(△)	161,921	262,268	80,937	18,365	△19,133	504,359	38,757	543,117

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、看護学校関連事業、医療器具関連事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	504,359
「その他」の区分の利益	38,757
セグメント間取引の消去	△18
四半期連結損益計算書の営業利益	543,099

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他	合計
	医療用ガス 関連事業	在宅医療 関連事業	医療用ガス 設備工事 関連事業	介護福祉 関連事業	施設介護 関連事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	1,623,118	2,095,057	405,019	273,036	134,219	4,530,452	336,329	4,866,782
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	47,377	—	—	47,377	—	47,377
計	1,623,118	2,095,057	452,396	273,036	134,219	4,577,829	336,329	4,914,159
セグメント利益 又は損失(△)	200,133	253,007	43,649	40,469	△32,644	504,614	46,783	551,398

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、看護学校関連事業、医療器具関連事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	504,614
「その他」の区分の利益	46,783
セグメント間取引の消去	—
四半期連結損益計算書の営業利益	551,398

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。